

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで楽しむ子育てを！プレイセンター設立事業
事業主体 (連絡先)	おそと保育ぐるんぱ (メールアドレス：groompa_m@yahoo.co.jp ブログ URL：http://pmiyada.naganoblog.jp/)
事業区分	(3)教育、文化の振興、(1)地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	649,411 円 (うち支援金：487,000 円)

事業内容

子どもの育ちを積極的に考えたり見守ったりしたい親たちの多様なニーズに応えるべく、ニュージーランド発祥の幼児教育施設「プレイセンター」を開設し、子どもたちに自由に創造的な遊びができるよう環境を用意すると同時に、参加する親も主体的に活動に関わっていただける取り組みを行った。

NPO 法人日本プレイセンター協会の認定を受け、6月22日に「プレイセンターにじのたね」を開設し、スーパーバイザー・河野氏によるお話し会を実施。通常活動にあたる「遊びのセッション」を月平均6回、親の学習や座談会を行う「まなびあい」を月1回実施した。また、8月11日に日本プレイセンター協会副理事・足立氏を招き講演会を開催し、スーパーバイザー・河野氏を招いてのお話し会(座談会)を10月25日、12月20日、2月24日の計3回行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

宮田村職員、村内外の議会議員、近隣市町村の子育て支援センター職員の方、さらに宮田村副村長や地元県議会議員にもお越しいただいき、行政に携わる方々とも、地域での子育てについての課題共有などの交流ができた。

また活動に注目いただいたことで他団体等からイベント参加等のお話しを受けるようになり、出張して遊びの体験会などを行う機会を複数回いただくことができた。

利用登録者(家族)数は目標20組に対し32組となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当初の目標を達成したものの、1年間の活動を通して、参加者や協力者が不足していると感じた。また、イベント等の参加者数に対して通常活動における参加者数が少ないと感じた。次年度以降は参加する親子がより「運営」にも携われるよう配慮するほか、参加者や協力が増えるよう策を講じながら、継続して活動を行っていただけるよう、さらに努力したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【「遊びのセッション」の様子】

【目標・ねらい】

- ① 「プレイセンター」の開設
- ② 乳幼児がのびのびと遊べる場所を提供する
- ③ 行政ともかかわり、子育てに関する地域課題の共有を図る
- ④ 年間での利用登録者(家族)数を増やす

※自己評価 【 A 】

【理由】
積極的に PR を重ねた結果、活動を多くの方々に知っていただき利用登録者(家族)数が目標値を上回ったため。